

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

1 会議名 令和4年度岐阜工業高等学校 学校運営協議会 (第1回)

2 開催日時 令和4年5月19日(木) 13:30～15:30

3 開催場所 岐阜県立岐阜工業高等学校 記念館2階

4 参加者

会長	岩田 勝美	(株)岩田鉄工所 代表取締役
副会長	青木 秀益	地域住民代表
委員	加藤 大武	(株)加藤組 代表取締役
	木下 詩乃	地域住民代表
	駒瀬 典子	羽島更生保護司会サポートセンター センター長
	杉山 明	名古屋鉄道(株) 笠松駅駅長
	勝呂 安範	(株)光製作所 専務取締役
	瀬上 朱里	地域住民代表
	高森 幹啓	育友会会長
	智原 美智子	育友会副会長
学校側	堀 秀樹	校長
	上村 さとみ	事務部長
	小里 靖	副校長
	藤原 竹志	教頭
	浅井 智世	教頭
	阿部 光明	教務主任(全日制)
	高橋 宏幸	教務主任(定時制)
	山口 敦生	生徒指導主事
	前川 隆英	進路指導主事
	草壁 善則	工業教育部長

5 会議の概要(協議事項)

(1) 教育指導の重点及び学校経営計画について

全委員より承認が得られた。

(2) 各分掌の具体的な教育活動の方針と重点について

意見1:コロナ禍で学校運営が難しい時代ではあるが、本校は特色のある学校でかつ生徒や保護者からの満足度の高い学校であるので、ぜひ生徒の力を伸ばしてほしい。

意見 2 : 新型コロナウイルスの感染拡大が、生徒に大きな影響を与えている。今年度は、授業・部活動・行事を平常に行ってほしい。

意見 3 : 高校、育友会、同窓会の三位一体で学校設立 100 周年に向け、本校を盛り上げていきたい。特に、学校と同窓会の関係を密にして学校を支援していきたい。また、地元企業に人材を輩出してほしい。

意見 4 : 企業は、一人前の社会人になるには何年必要かを見極めて採用後の教育を行っている。また、学校のルールと社会のルールの違いを理解させている。このような教育で、離職率が少なくなったので参考にしてほしい。

意見 5 : 子どもの SNS 上には、大人からは見えない交流がある。生徒支援部で情報モラル教育の指導を徹底してほしい。

意見 6 : デザイン工学科や建設工学科が、企業の展示場でポスター展示を行っている。今後も企業を交えた交流を継続してほしい。

意見 7 : 本校の PR 活動を計画通り積極的に行ってほしい。本校には、夢と希望を持った生徒が入学している。質の高い地域貢献ができる生徒を育成してほしい。

意見 8 : 鉄道に関する事件や事故が発生している。高校生が巻き込まれる事案も発生している。身の危険を感じたら、駅のホームや電車内の非常ボタンを躊躇なく押してほしい。

意見 9 : 本校生徒の乗車マナーが良く、2 年間注意したことは無い。ただし、河川敷グラウンドに移動する生徒が駅の地下道を自転車で通過するときには周囲の安全に十分注意してほしい。

意見 10 : 高校も中学生への PR 活動に苦勞しているが、地元企業も高校生への PR 活動に苦心している。PR 活動の方法に検討が必要である。

意見 11 : 企業が求める人材は、元気で目を見てあいさつができる生徒である。そのような生徒は、ものづくりの現場でも自分の意見を発言できるし活躍できる。発表会等で、コミュニケーション能力を向上させてほしい。

意見 12 : コロナ禍においても、部活動等で一生懸命な生徒を支援してほしい。また、現在希薄になっている保護者間のつながりも大切である。

意見 13 : 本校は、同窓会や地域住民に見守られた学校である。生徒指導部が生徒支援部へと変わったことで、生徒が相談し易い環境になること期待する。

意見 14 : コロナ禍であるので、インターネット環境を充実させてほしい。

意見 15 : コロナ禍による欠席・出席停止の判断に関して企業と学校で考え方のギャップがあり、見直しが必要ではないかと感じている。

意見 16 : コロナ禍において、育友会行事等ができていない。学校行事、育友会行事をできる限り実施してほしい。

意見 17 : 岐阜県の航空機産業は、航空機部品の製造が中心であり、機械工学科の学びは業界からも求められている。旋盤・フライス盤・マシニングセンター実習など基礎的な実習に力を入れてほしい。

質問 1 : コロナ禍において授業料等の滞納はあるか。

回答 : 就学支援金制度があり、昨年度の未納者はいない。また、授業料以外に必要な学費に関しては、岐阜県の就学給付金制度を保護者に紹介している。

質問 2 : 今年度の、中学校 P T A 訪問の予定はどうか。

回答 : 積極的に受け入れる。夏の高校見学会も予定通り行う見通しである。

質問 3 : 以前、実習時にネクタイを着用している生徒がいた。危険だと感じたが現在はどうか。

回答 : 着用しない指導を徹底している。(現在は指摘を受けるような生徒はいない)

質問 4 : 故障している実習機器の修繕はどうなっているか。

回答 : 古い機械では、制御装置のソフトウェアのサポート切れや部品の供給がないため、修理ができないものがある。新しい機械に代替していきたい。

6 会議のまとめ

第 1 回学校運営協議会では、全委員より今年度の本校の学校運営基本方針について承認が得られた。

一昨年度は、コロナ禍において中学生に対する学校説明会ができない状況下となり入学志願者数が定員を割りこんだが、今年度は、航空機械工学科群を除いて全ての学科で入学志願者数が定員を超えた。今後、職員一丸となって学校ホームページの更新や、刷新したパンフレット等を活用しながら本校を P R していきたい。また、ふるさと教育を推進しながら県内企業へ多くの生徒が就職するように働きかけていきたい。

産業教育設備においては、D X (デジタル・トランスフォーメーション) の推進およびスマート専門高校整備事業に伴い B I M 等最新の実習装置が導入されている。今後は、これらの装置を特に有効活用していきたい。

委員から得られた、意見や提言を令和 4 年度の学校運営にいかしていく。